

## 接尾辞「的」の連体修飾用法 「-的 $\phi$ 」と「-的な」に関する一考察

### A Study on the Usage of Suffixes *teki* and *tekina* when they are used as adnominal modifiers

原田 朋子

#### 要 旨

接尾辞「的」に関する先行研究は多く見られるが、同じ語基をもつ場合、連体修飾としてはたらく際の「-的 $\phi$ 」と「-的な」について、それぞれの使用範囲に何らかの制限があるのか、意味的な差異があるのかについては、十分に研究されていない。また、一般的に日本語母語話者はこれらを感覚的に使い分けられていることが多いが、そのような判断は日本語学習者にとっては難しい。そこで、本稿では、日本語母語話者がどのように「-的 $\phi$ 」と「-的な」を選択しているのかを調査するために、まず「近代的(な)」を例に、アンケートによって、傾向を考察した。その結果、日本語母語話者がどちらを選択するかは、臨時一語として認識した場合や、文脈上の漢語連続等のバランスから決定されることが多いことが分かり、意味的観点からは「近代的な」の方に「近代的 $\phi$ 」より、やや幅の広さが認められた。次に、計量的分析によって、「基本的 $\phi$ 」及び「基本的な」のように「-的 $\phi$ 」と「-的な」のどちらの形も同程度の頻度で使用される傾向があるタイプと、「社会的 $\phi$ 」、「経済的 $\phi$ 」のように「-的 $\phi$ 」の形の方が多く使用されるタイプと、「具体的な」、「代表的な」のように「-的な」の形で多く使用されるタイプがあることが確認できた。また、「社会的地位」、「経済的(な)理由」、「代表的な例」、「代表的なもの」のようなセットで、繰り返し使用されるものがあることも併せて指摘した。

#### キーワード

日本語 接尾辞 的(な) 連体修飾 語基 臨時一語 近代的

#### 1 はじめに

接尾辞「的」に関する先行論文は数多く存在し、「-的」の多義性が指摘されている。特に、「-的」に前接する語基の語種や意味分野については山下喜代(1999)に詳しく、「-的」の形態や意味の分類や誤用のタイプについては遠藤織枝(1984)に明瞭にまとめられている。連体修飾としてはたらく際の「-的 $\phi$ 」<sup>1</sup>と「-的な」に関しては、先

行研究ではその形態の抽出数の違いについて論じることには力点が置かれているものが多い。高橋勝忠(2005)においては、「男性的な行動」「男性的行動」及び「女性的な性格」「女性的性格」のように、活用語尾の「な」があるかないかで、「-的 $\phi$ 」と「-的な」は多少ニュアンスが異なることに使用頻度の差から触れられているものの、なぜ活用語尾の「な」があるのか、ないのか、その理由や意味の違いの有無については、さらなる研究の余地がある。

接尾辞「的」に関わる誤用に言及すると、筆者がこれまでに添削した日本語学習者の作文に、「盛大な式典」とすべきところを「盛大的な式典」としたり、「完全な状態」とすべきところを「完全的な状態」としたりするような例が見られたが、これは、日本語のいわゆる形容動詞には接尾辞「的」が付きにくいという特徴について、学習者の理解あるいは指導する側の認識が不足していることも一因だと考えられる。しかし、例えば、次の(i)や(ii)のような誤用はどうか。これらは、また別の問題ではないだろうか。

(i) 私は×魅力的→魅力的な女性になりたいです。

(ii) きれいな物をたくさん見て、×美的な→美的感覚を身に付けた。

連体修飾としてはたらく接尾辞「的」の後ろには、活用語尾の「な」があるタイプとないタイプがあるのだが、日本語母語話者はその使い分けを、語基が漢語<sup>2</sup>の場合には後接する漢語との結びつきやすさから、または、文脈全体から感覚的に判断していることが多いのではないだろうか。一般的に、後接する語種との結びつきは、後接するものが漢語の場合、和語や外来語の場合と比べ、活用語尾の「な」がなくても不自然になりにくい、あるいは臨時一語<sup>3</sup>を形成しやすいと考えられる。しかし、上記の(i)や(ii)のように、「-的」の後ろに活用語尾の「な」がある形で使用するか否かを感覚で判断するというのは、日本語学習者にとっては難しい問題である。実際に、望月通子(2010)においても、日本語母語話者、韓国語学習者共に、「-的なN」を最も多く使用するが、日本語母語話者は「経済的基盤」のように臨時一語も多用する傾向がある一方、韓国語学習者は日本語母語話者に比べ「-的なN」を過剰使用し、臨時一語は過少使用する傾向があると述べられている。

原田朋子(2015)は、「男性的(な)」「女性的(な)」を対象とした研究において、連体修飾としてはたらく際には、「男性的 $\phi$  + 体言」「女性的 $\phi$  + 体言」に比べ、「-的」のうしろに活用語尾「な」がある「男性的な + 体言」「女性的な + 体言」の形の方が圧倒的に多く、「男性的 $\phi$ 」及び「女性的 $\phi$ 」と「男性的な」及び「女性的な」に後接する語の語種には差異が認められたと述べた。より具体的に述べると、「-的」に活用語尾「な」があるタイプに後接するものは、漢語や外来語といった借用語だけではなく、

固有名詞や和語などの多くの語種と結びついているということを描した。さらに、「男性的な」「女性的な」と「男性的の」「女性的の」の間に、意味の違いも見出し、「男性的の」及び「女性的の」は、形態から見ても後接する語との固定性が強い上、意味から見ても制限が加わる傾向があるということを描らかにした。

しかし、原田朋子（2015）では、例えば、「近代的設備」と「近代的な設備」のような他の例について、「-的の」と「-的な」で使用できる範囲に何らかの制限があるのか、果たして意味の差は認められるのか、認められるとすれば、どのような差異があるのかなどについては今後の課題として挙げたのみで、接尾辞「的」の他の語基を対象とする考察は行わなかった。

そこで、本稿では、第2章で「近代的（な）」を対象に、連体修飾としてはたらく際の「-的の」と「-的な」について、アンケート調査や文脈上での分析により考察を行い、第3章では計量的調査から、同じ語基を持つ「-的の」と「-的な」の間で抽出数に差があるものを洗い出した上で、抽出数の多い上位の語基についても「-的の」と「-的な」の使われ方の分析を試みたいと思う。

## 2 「近代的」から見た「-的の」と「-的な」

### 2.1 調査対象と方法

本分析では、まず「現代日本語書き言葉均衡コーパス」より「近代的」を含む前後文脈の文字数100からなる文章を考察対象とし、新聞・書籍・雑誌・白書・教科書・広報誌・ウェブページを選択し、次に、連体修飾としてはたらくしている「近代的の+体言」と「近代的な+体言」のどちらかのタイプを含む文章を、無作為に35例抽出し、5人の日本語母語話者にアンケート調査を行った。アンケートの被験者は、20代～60代の各年代から1人ずつの計5人（男性3人、女性2人）である。アンケートの実施内容は、例文中の「近代的」の後ろの（ ）括弧に活用語尾の「な」があるほうが自然かどうかを判断してもらうという方法で、次の①～③の選択肢を設けた。また、アンケート調査後に、なぜそれを選んだかという理由の聞き取り調査を行った。

- ①「な」がある方がより自然だと思う。
- ②「な」がない方がより自然だと思う。
- ③どちらも自然だと思う。

また、併せて「近代的の」及び「近代的な」にどのような意味があるのかを判定してもらった。『学研国語大辞典』には、「近代的」の意味として「近代としての特徴をもつようす。また、新しい感じをもつようす。」と記述されている。そこで、「近代<sup>4</sup>としての特徴をもつ」という意味があるものに○印を、「現在から見ても新しい感じをもつ」と感じられるものに☆印を付けてもらった。表1にアンケート調査の結果を示す。なお、表1は、本文の例文順に並び替えたため、実際の調査の例文順とは異なる。本文の例文は、基本的に、被験者が選択した「-的な」や「-的の」の一致数の多い順、また、後接する和語や外来語や漢語等の語種別に分けて並べている。

【表1】「近代的φ+体言」と「近代的な+体言」に関するアンケート調査結果

	「-的φ」、「-的な」に関する回答					A~Eの一致数	コーパスの原文	意味に関する回答					☆選択者数	○選択者数
	A	B	C	D	E			A	B	C	D	E		
(1)	①	①	①	①	①	5	な	☆	○	☆	☆	☆	4	1
(2)	①	①	①	①	①	5	な	☆	○	☆	☆	☆	4	1
(3)	①	①	①	①	①	5	な	☆	☆	○	☆	☆	4	1
(4)	①	①	①	①	①	5	な	☆	☆	☆	☆	☆	5	0
(5)	①	①	①	①	①	5	な	☆	○	☆	○	○	2	3
(6)	①	①	①	①	①	5	な	☆	○	☆	☆	☆	4	1
(7)	①	①	①	①	①	5	な	☆	○	☆	○	○	2	3
(8)	①	①	①	①	①	5	な	☆	○	○	☆	☆	3	2
(9)	①	①	①	①	①	5	な	☆	☆	☆	☆	☆	5	0
(10)	②	②	②	②	②	5	φ	○	○	○	○	○	0	5
(11)	②	②	①	②	②	4	φ	○	○	○	○	○	0	5
(12)	②	②	①	②	②	4	φ	○	○	○	○	○	0	5
(13)	②	②	①	②	②	4	φ	○	○	○	○	○	0	5
(14)	②	②	②	①	②	4	φ	○	○	○	☆	☆	2	3
(15)	②	①	②	②	②	4	φ	○	○	○	○	○	0	5
(16)	②	②	①	②	②	4	φ	○	○	○	○	○	0	5
(17)	②	②	②	①	②	4	φ	○	○	○	○	○	0	5
(18)	①	①	①	②	①	4	な	☆	☆	☆	☆	☆	5	0
(19)	③	①	②	①	①	3	な	○	○	○	○	○	0	5
(20)	②	①	①	②	②	3	φ	○	○	○	○	○	0	5
(21)	②	①	①	②	②	3	φ	○	○	○	○	○	0	5
(22)	②	①	①	②	②	3	φ	○	○	○	○	○	0	5
(23)	②	①	①	②	②	3	φ	○	○	○	○	○	0	5
(24)	②	①	①	②	②	3	φ	○	○	○	○	○	0	5
(25)	②	①	①	①	①	4	φ	○	○	○	○	○	0	5
(26)	②	①	①	①	①	4	φ	○	○	☆	○	○	1	4
(27)	②	②	①	②	①	3	φ	○	☆	☆	○	○	2	3
(28)	②	②	①	①	①	3	φ	○	☆	☆	☆	○	3	2
(29)	③	①	②	②	①	2	な	○	○	○	○	○	0	5
(30)	①	②	①	①	②	3	な	☆	○	☆	○	☆	3	2
	①	②	①	①	②	3	な	○	○	○	○	○	0	5
(31)	②	①	①	②	①	3	な	○	○	○	○	○	0	5
(32)	②	②	②	②	②	5	な	○	○	○	○	○	0	5
(33)	①	②	②	②	①	3	な	☆	☆	☆	☆	☆	5	0
(34)	①	②	①	②	①	3	な	☆	☆	☆	☆	☆	5	0
(35)	①	②	②	②	①	3	な	☆	○	☆	☆	☆	4	1

## 2.2 分析結果

調査・分析の結果、「近代的」の後ろに活用語尾の「な」がある方が自然、あるいは「な」がない方が自然だという回答で、全員が一致したものは次の(1)～(10)の通りである。なお、例文中の下線、〈中略〉、φは筆者による。

- (1) ところで、CVS が大きな飛躍をとげた最大の理由は、なによりも「便利」ということであった。すぐ近くにあるし、年中無休で深夜でも営業している。それに加えて、アメリカでの事例にならって、八十二年九月にセブン・イレブンが業界で最初に全店舗に導入した「POS（販売時点情報管理システム）」が威力を発揮し、この「近代的（な）街の雑貨屋」は装いも新たに大きく発展したのである。コンビニには本部の直営店もあるが、圧倒的部分を占めるのは「フランチャイズ方式」である。

『日本経済のドラマ』堺憲一（著）東洋経済新報社、2001年

- (2) ‘ベネトン’ 本社の見学終了後は、ベネトン本社へ大人の社会見学ツアーに出発。まるで美術館のように歴史や文化を重んじている「ヴィラ ミネリ」、修復された邸宅と近代的（な）建物が見事に調和している「ファブリカ」などを見学。

『Oggi』古里典子 / 高橋リタ（著）小学館、2003年

- (3) きのうは観光案内所で順番が来るのを待ちきれずに、昔の泊まったホテルに決めたのが失敗だったようだ。確かにガラス張りの大ホテルで、設備も整っている「近代的（な）ホテル」だが、それだけに団体客が多い。

『ドイツ手作り紀行』伊関武夫（著）溪流社、2005年

- (4) リマソルの東海岸には、近代的（な）リゾート・ホテルが立ち並んでいるが、私は西寄りの旧市街に宿をとった。いささかうらぶれた感じの旧市街の雰囲気が、私には魅力的だったからである。〈中略〉老朽化した邸宅を使った、ゲストハウスと呼ばれる民宿が私のリマソルの宿になった。

『キプロス島歴史散歩』澁澤幸子（著）新潮社、2005年

- (5) ボローニャ都心の景観には今も中世の雰囲気が濃く漂う。だが一歩外に出ると、そこには現代の顔がある。この街の際立った特徴であるポルチコ（柱廊）に沿って並ぶ近代的（な）商店街。パレンチノ、グッチ、アルマーニ—高級ブランド専門店のショーウィンドーが目目を奪う。欧州最古の大学都市ボローニャは、今ではミラノに次ぐ北イタリアの先端ファッションの街としても有名だ。

『変わる都市』上田勝雄 / 守時紀典（著）共同通信社、1989年

- (6) なにせ名勝古跡には事欠かない中国です。黄河に長江に、泰山に黄山に、大河があれば秀麗な山がある。北京に上海に、蘇州に杭州に、近代的(な)大都市もあれば情緒漂わせる古都もある。

『粵語雑俎』千鳥英一(著)好文出版、2002年

- (7) 少し描き足した、左右の目尻へ垂れかゝつた、細長い三日月なりの眉に、黒水晶のやうな瞳をもつて、白眼の碧く澄んだ目、糊を入れた長い睫毛、なだらかな波をうつつ黒い髪の毛が耳の後へ掻きわけられて、その下から耳飾りの珊瑚の花が芸者などに見る古い型の美しさだが、扮飾がうまいのと、顔全体の表情が、近代的(な)神経をもつてゐるので、退屈を感じさせるやうなことはない。

『徳田秋聲全集』徳田秋聲(著)八木書店、2002年

- (8) 十数年前のおはらい町の写真を見ると、お世辞にも内宮の鳥居前町としての歴史的な雰囲気があるとはいえ、つかれきつた近代的(な)観光地という方がぴったりである。あらためて現在とのギャップに驚く。

『日本の都市環境デザイン』浅野聡(著)建築資料研究社、2002年

- (9) 私の家の外堀のように川は、私達の屋敷を囲みそしてさとうきび畑が広がる。保育所と自衛隊住宅が近代的(な)光景を作っても村はずれのここだけは私を昔の頃に今でも引きもどす。

『駅の住人』稀土祥子(著)文藝書房、2003年

- (10) そもそも合衆国は、十八世紀にヨーロッパで進行しつつあった国家機構の組織化(ステーツ・メーカー)の流れを拒否することによって生まれたと言える。米国の独立は、当時イギリスで進展しつつあった中央集中化し、専門化し、社会の細部まで浸透していく近代的(の)国家機構へ巻き込まれることへの拒否であった。

『南北アメリカの500年』長田豊臣(著)青木書店、1993年

例文(1)～(9)では、「近代的」の後ろの( )括弧に活用語尾の「な」がある方が自然だと5人中5人全員が答えている。例文(1)、(2)は「近代的」に後接する語種が和語であるため、活用語尾「な」がないよりもあった方がすわりがよいと感じられたのではないだろうか。さらに、例文(1)は、「近代的な」に「N1のN2」が後接しており、構文的な理由からも、活用語尾の「な」を入れざるを得ないと判断されたと考えられる。例文(3)、(4)の「近代的」に後接するものは外来語だが、これも例文(1)、(2)と同様の理由で、活用語尾の「な」がある方が自然だと感じられたようである。特に、例文(3)は鉤括弧が付いた「近代的な」で、後ろのホテルを形容して

いる。

例文 (5) ~ (9) の「近代的」に後接するものは漢語であるが、「近代的商店街」、「近代的大都市」、「近代的神経」、「近代的観光地」、「近代的光景」といったものは、アンケートの後の聞き取り調査では、一語として認めにくいと感じ、活用語尾「な」がある方が自然だと判断したという意見が聞かれた。これらが仮に臨時一語として成り立つとしても、特に、例文 (7) の「近代的神経」は、何を意味しているかが分かりにくく、「近代的」と意味的な関わりが希薄なものは活用語尾の「な」が入りやすいと思われる。例文 (8) は、「観光地」を修飾しているが、「近代的」の前に「つかれきった」という表現がともに用いられることで、「つかれきった+近代的観光地」の意味に違和感が生じ、「つかれきった+近代的な+観光地」のようにしようという意図がはたらいたというような回答もあった。

例文 (10) は、「近代的」の後ろの ( ) 括弧に活用語尾の「な」がない方が自然だと 5 人中 5 人全員が答えたが、「近代的国家機構」という臨時一語には違和感が生じなかったようである。

次の例文 (11) ~ (17) は、「近代的」の後ろの ( ) 括弧に活用語尾の「な」がない方が自然だと被験者 5 人の内 4 人が答えた例文である。

- (11) この北部の経済力が、南北戦争（千八百六十一—六十五年）によって、南部の奴隷制プランテーションを解体させる原動力となった。こうして工業的東部に、再建南部と農民的西部が結合されて、広く深い国内市場をもつ近代的 (φ) 国民経済に再編成された 1870 年頃、アメリカ産業革命は終わりを告げる。

『西洋の歴史』大島隆雄（著）ミネルヴァ書房、1987 年

- (12) 錬鉄生産に関しては、千七百八十四年コートがパドル炉を発明している。さらに、精錬および原動機用燃料としての石炭消費の増大は、近代的 (φ) 炭鉱業の成立に導く。＜中略＞千七百七十七年カールが開発した鑄鉄製レールとトロッコ、およびその巻き上げ装置によって確立し、産炭量は飛躍した。

『西洋の歴史』大島隆雄（著）ミネルヴァ書房、1987 年

- (13) 「二十世紀」という時代を振り返る時、この時代の大きな特徴は、資本主義自由経済体制と社会主義計画経済体制との競争的併存であった。長い間、近代的 (φ) 合理主義の思想と近代工業社会の体制を、普遍的真理と信じてきた人類は、この両体制を人類社会の両極を成すものと考えてきた。特に社会主義計画経済を支持する論者は、「これこそ未来の体制だ」と主張して譲らなかつたものだ。だが、千九百九十年代を迎えた今、決してそうではないことが明らかになった。

『先見後顧』堺屋太一（著）毎日新聞社、1990 年

- (14) この親興組員名簿登録者は、全軽子のわずかにおよそ二十%を占めるに過ぎませんから、これだけで魚河岸軽子の農村的基盤を一般化することはできませんが、それにもかかわらずわたしたちは、この限られた資料から近代的(φ)組織的な就労ルートにのらない魚河岸軽子の調達のありさまを知ることができます。

『魚河岸は生きている』中村勝著(著)そして、1990年

- (15) ここには国法上まったく権限を持たない機関が国策の実質的決定をすることに対しなんらの疑念も抱かれていないのみか、それを自讃さえしており、彼らが中国人に対して誇ったはずの日本の近代的(φ)法治主義がいかなる質のものであったかが、はしなくも吐露されている。しかし、法的に権限がないことを認識したうえでなおこの総務庁中心主義は称揚され、それによって満州国統治が‘能率的’に遂行されていった。こうして総務庁満州国の権力核となったのである。

『キメラ-満州国の肖像』山室信一(著)中央公論社、1993年

- (16) ブルジョア経済学労働価値説によらず、私的資本の自由放任→自動調節機能→均衡と発展の実現を検証しようとしてしました。この「近代的(φ)経済学」はその理論の再構成が必要となり、その課題を果たしたのが次章で述べるイギリスのケインズです。

『経済学の歴史に学ぶ』福田泰久(著)清風堂書店、2003年

- (17) 中山路にそって明故宫西側にある国立中央病院もこの時の攻撃目標にされた。同病院は千九百三十三年に設立され、鉄筋四階建ての近代的(φ)ビルディングに最新医療設備をそなえ、年間十万人の患者が治療を受けていた。屋上にペンキで大きく赤十字のマークと漢字で“中央病院”と書いてあったにもかかわらず爆撃されたのである。

『南京難民区の百日』笠原十九司(著)岩波書店、2005年

例文(11)の「近代的国民経済」は国民経済を「近代的な」で形容するというよりも、漢語が続くせいか、臨時一語のように感じられたのではないだろうか。例文(12)も後接する「炭鋳業」が漢語であることが関わっているようである。

例文(13)及び(15)は、ともに「近代的～主義」だが、これも活用語尾「な」がない形で一語として容認できると判断されたようで、臨時一語化しているのだろう。

例文(14)の「近代的組織的な就労ルート」は、「-的-的な+体言」という並列の形態になっているが、このように構造上、一つ目の「-的」には活用語尾「な」がなく、二つ目の「-的」のうしろの「な」に活用の形態を集約させたような、構文的な理由が関わっているものもある。

例文(16)の「近代的経済学」には鉤括弧が付いており、学問の名称の一つとして捉えられ、臨時一語になると判断されたようだ。「近代経済学」は近代における経済学



だろうが、「近代的経済学」はその意に加え、近代としての特徴をもった経済学だと受け取れる。

例文 (17) は「近代的ビルディングに最新医療装備をそなえ、…」のように、後続する「最新医療装備」という漢語続きに影響された可能性もあるが、筆者が「現代書き言葉均衡コーパス」で再度「近代的ビル」と「近代的なビル」を収集してみたところ、「近代的ビル」は2例であるのに対し、「近代的なビル」が7例見られた。「近代的」に後接するものが「ビルディング」から「ビル」になり代わっただけで、活用語尾「な」があった方が自然かどうかの判定は揺らいでくるのかもしれない。そのぐらい曖昧な選択を日本語母語話者が知らず知らずのうちに感覚的に行っているとすれば、日本語学習者にとっては非常に難しい選択である。

次の例文 (18) は、「近代的」の後ろの ( ) 括弧に活用語尾の「な」がある方が自然だと被験者5人の内4人が答えた例文である。

- (18) 現代において特有にみられる不法行為は、その有用性や便益にかんがみ社会が許容せざるをえない行為から不可避的に発生するものであり、このような社会的有用性または便益とそこから生じた損害のてん補または被害者の救済との調整をいかに図るかが問題となっているのである。近代的 (な) 科学技術を駆使して生産される製品にかかる事故についても、まさにこのような政策的問題が生じうる。

『製造物責任法』野村裕（著）商事法務研究会、1995年

例文 (18) は、「近代的科学技術」の部分にのみ着目すれば、活用語尾の「な」がない形で臨時一語として用いることができるようにも見えるが、宮島達夫 (1994) は次のように述べている。

- A 近代的な生活様式導入 (にふみきった)  
は、その固定性において、  
B 近代的な生活様式の導入  
というのと、ほとんどかわりない。しかし、Aを構成する単位は、文のなかで、Bの3単位ほど自由にふるまうことはできない。

このような理由で、「近代的な科学技術」の方がより自然だと判断されたとも考えられる。

次の例文 (19) の「近代的な焼却炉」は「近代的焼却炉」のような臨時一語にするの不自然になると判断した被験者が多かった。

- (19) ジプシー、ロシアのスラブ民族さらにナチスに反対し、抵抗するボルシェビキ（共産

主義者)たち…。こうした人々への迫害がはじまり、「劣等民族」を束にして貨車にのせ、家畜用運搬列車は一週間も十日も人間をかんづめ状態にして、いくつもの強制収容所へと送りこみました。収容所で彼らをまちうけていたものは、ガス室と、近代的(な)焼却炉です。アウシュビッツ強制収容所だけで、なんと四百万人が煙になったということですが、そこへも、一度ならず足を向けました。

『人間だいすき』早乙女勝元(著)草の根出版会、1986年

その他、以下の例文は、5人中3人、あるいは5人中2人といったふうに回答が少々割れたものであり、形態から見て、活用語尾「な」がある方が自然か否かに触れるのは避け、次は、意味から考察してみたい。以下に挙げる例文中の「近代的」の後ろの( )括弧内は、「現代日本語書き言葉均衡コーパス」の原文の通りである。

先に述べたように、『学研国語大辞典』には、「近代的」の意味が「近代としての特徴をもつようす。また、新しい感じをもつようす。」と記述されているが、前後文脈から判断すると、上掲の例文(10)の「近代的」は、「近代の」の意で、近代のことに言及しており、また、例文(11)、(12)、(13)、(15)、(16)、(17)も、近代としての特徴をもち、近代のことに言及している。つまり、現代あるいは現在から見ても新しい様子を表しているのではない。これらに加え、以下の(20)～(25)は、日本語母語話者5人中5人全員が「近代的φ」に「近代としての特徴をもつ」意味であると答えた。35例の例文全体では、「現代書き言葉均衡コーパス」の原文が「近代的φ」になっているものは17例あり、その内、13例について、日本語母語話者5人の内、全員が「近代の」あるいは「近代としての特徴をもつ」と回答し、「現在から見ても新しい感じをもつ」様子の方を選択しなかった。

- (20) 天皇は土俗的ないわば神主の自家のようなものであると述べている。ところが明治になって、国家体制を近代化しようとして、天皇は二つの面をもつことになった。その一は、土俗的な神託的な、むかしからの国民的統一と結合の象徴としての天皇、その二は近代的(φ)君主としての性格である。土俗的な天皇感情は戦後になっても熱く流れている。宮中清掃奉仕の姿などにもそれがみられる。

『戦後天皇論の軌跡』石田圭介(著)日本教文社、1989年

- (21) フランス革命の直後にあって、コンスタンは近代に対する最初の近代的(φ)批判をする者となるだろう。この選択は、彼を当時支配的であったふたつの視点と対立させる。ボナルトからトクヴィルに至るまでその影を漂わせる保守主義者たちとは異なり、コンスタンはけっして到来した変化を嘆いたりしない。

『バンジャンマン・コンスタン』ツヴェタン・トドロフ(著)小野潮(訳)法政大学出版局、2003年

接尾辞「的」の連体修飾用法「-的の」と「-的な」に関する一考察（原田 朋子）

- (22) 教科書が現実の学校教育において客観的に果たす役割や、教科書への教師や子どもの期待は、社会情勢の変化、学問・文化の進展、なかでも教育学の発展にともなって歴史的に見ると大きく変化してきた。近代的（φ）教科書の出現に大きく貢献したのは、近代教授学の祖ともいわれるコメニウス（千五百九十二-千六百七十）である。

『「読書」はなぜ基礎学力か』柴田義松（著）明治図書出版、2003年

- (23) 私は日本の文化や芸術の発達に興味をもった。そして、奈良、京都、徳川の各時代や、中国の各流派の影響や、明治以降の近代的（φ）努力の時代について研究した。

『ゾルゲの見た日本』リヒアルト・ゾルゲ（著）/生駒圭（訳）みすず書房、2003年

- (24) 荒川の瀬替により本流が流れるようになった川島の地は、慶安年中（千六百四十八～千六百五十二）松平信綱が建設した川島領大囲堤によって守られ、明治以降は大囲堤を中心に造成された近代的（φ）大堤防や河川改修によって水害を克服することができました。

『川島町史』宇津木達/岡田潔/菊池建太（著）川島町、2004年

- (25) 今日近代的（φ）書物をつくろうとし、あるいはつくっているものは、ジョン・ハートフィールドに直接負うところがある。彼の初期の造形は、ヤン・チヒョルトが千九百二十八年の『新しい本』ですでに書き、わたしたちがみんなそこで仕事している、書物の歴史のあの章をきりひらく、近代書籍芸術の初期活版本といえる。

『ジョン・ハートフィールド』ヴィーラント・ヘルツフェルド（著）針生一郎（訳）水声社、2005年

以下の例文（26）は日本語母語話者5人中4人が「近代的φ」に「近代としての特徴をもつ」意味であると回答した。例文（27）は「近代としての特徴をもつ」という意味があると回答した人が5人中3人、「現在から見ても新しい感じをもつ」と回答した人が5人中2人だった。しかし、筆者が前後文脈から判断するかぎり、（26）、（27）ともに「近代としての特徴をもつ」意味ではないかと思われる。

- (26) 研究大学ないし大学院大学は、千八百七十六年にアメリカで誕生したジョンズ・ホプキンス大学をもって嚆矢とする。これを契機に全米各地の大学では大学院と学部学科制度が生まれ、学術団体や学術雑誌も続々と誕生し、ハーバード大学では初めて選択科目制度が産声をあげる。こうして近代的（φ）大学が生成されて初めて、有能な研究者を大学に集めることができたのであった。

『〈検証〉大学の冒険』日垣隆（著）岩波書店、1994年

(27) 学校教育の成果を巡り家庭の教育力が問われるようになってきたこと、急激な近代化による社会変動のうねりの中、家族観もまた、従来の大家族観から、父母を中心とした近代家族観へと変換しつつあったことなどが影響していると考えられるからである。東は、近代的(φ)家族観に基づく家庭教育のあり方を提言することにより、「将来必要な教育の基礎」であり、「将来に大なる影響を及ぼす」家庭の教育力の重要性を示したのである。このような父母を中心とする東の家庭教育における道徳教育観は、今日、様々な問題を抱える我が国においても示唆に富んだものだとはいえるのではないだろうか。

『明治維新後期幼稚園保育の展開過程』 柿岡玲子(著) 風間書房、2005年

上掲の例文(14)は「近代的φ」が「近代としての特徴をもつ」という意味であると回答した人が5人中3人で、また、次の例文(28)は、同じく「近代としての特徴をもつ」という意味であると回答した人が5人中2人と答えが分かれたものである。例文(14)は文脈の「この限られた資料」からだけでは、近代としての特徴をもつことなのか、新しい感じをもつことなのか判断できない。例文(28)も、文脈からは「モーターを取りつけた」船を近代としての特徴をもつと捉えるか、新しい感じをもつと捉えるか、どちらの意味かの判断は難しい。また、「漁船」という言葉のイメージも、「近代的」がどのような意味になるかを左右したようだ。このようなものは、例文(14)と(28)のみで、他に「近代的φ」に現在から考えても新しい感じをもつことを表すと回答された例文はなかった。

(28) オスロの博物館で見たハイエルダールの「コンチキ号」が思い浮かぶ。貿易風や季節風を利用して古来、海の民は往来していたのだ。大航海時代よりうんと前の海の民がしのばれる。モーターを取りつけた近代的(φ)漁船もかなりの数見られる。時勢を感じさせる。

『スリランカで午後の紅茶を』 波勝一広(著) 三一書房、1995年

一方で、「近代的な」に「近代としての特徴をもつ」と5人中5人全員から判断されたものは、上掲の例文(19)と以下の例文(29)～(32)だった。調査対象の35例の内、「現代書き言葉均衡コーパス」の原文で「近代的な」になっているものは18例あり、その中で日本語母語話者5人中全員が「近代としての特徴をもつ」と答えたものは計5例であった。

(29) 第三世界の軍隊はどこでもそうだが、遅れている社会の「近代化」に欠かせない最も有力な手段なのである。たとえば、朝鮮戦争が終わった当時、韓国は開発の遅れた発展途上国の典型だった。軍隊だけは、米国から供与された近代的(な)装備をもっていたが、その運用にはかなりの技術を必要とした。たとえば、自動車の運転技術を知らない兵員は、

接尾辞「的」の連体修飾用法「-的の」と「-的な」に関する一考察（原田 朋子）

米軍が供与した近代兵器を使えない。

『経済国防論』長谷川慶太郎（著）新潮社、1988年

- (30) ブッシュ政権を、多くの人が保守というキーワードで読み解こうとする。だがその試みは必ずしも成功していない。いくつかの混乱がある。まず、ナショナリズムと保守主義の混同。中枢同時テロを受けて、奮い立ったブッシュ大統領と多くの米国民を突き動かしたのは愛国心、ナショナリズムは「国民」と「国家」が形成されて生まれた「近代的（な）感情」だ。一方で保守主義は、そうした動きに反発し、近代以前の家族制度や地域社会の価値観を維持しようとした「前近代的（な）感情」だ。

『新潟日報』ジョージ・ナッシュ（著）共同通信社（訳）新潟日報社、2003年

- (31) 日本の結核死亡率は、大正7年（千九百十八）の人口十萬対二百五十七を最高に少しづつ減少を始めたが、戦争のため十年ほどで死亡の減少が止まり、再び増加に転じた。そして戦後に、死亡率が非常に高い状態（死因順位は昭和十年～二十年まで第1位）で近代的（な）結核対策が行われたのである。その後は順調に減少して、平成十四年（二千二）には死因順位二十五位となった。

『地域精神保健指導論；感染症保健指導論』山下武子（著）日本看護協会出版会、2005年

- (32) 千八百七年の十月勅令による世襲隷農制廃止にはじまる農民解放、千八百八年の都市条例でうたがれた近代的（な）自治制度は、ともに自立した公民である自営農民や都市市民を育てるといふ性格を有していた。

『近代ドイツの歴史』丸島宏太（著）ミネルヴァ書房、2005年

次に、「近代的な」に「現在から見ても新しい感じをもつ」と5人中5人全員が判断したものには、上掲の例文（4）、（9）、（18）と以下の例文（33）、（34）の計5例見られた。

- (33) 売り場以外には在庫品を置かないことで小売店舗の実質的な必要面積は他にくらべてさらに小さい。これは小売りコストを下げるうえで極めて重要である。なぜそれができるかといえば、製品の在庫はイタリーのボンザノ本社に情報武装した超近代的（な）倉庫をおき、情報ネットワークによって必要な時に必要なだけ供給するというシステムができてからである。ニューヨークの五番街のような土地に置く在庫の役割が、ボンザノ村の「タダ」に近い土地の倉庫に置き換えられているのである。まさに情報ネットワークの経済的効果である。

『情報ネットワーク社会の展開』今井賢一（著）筑摩書房、1990年

- (34) ある鍛冶師は「鉄は生き物です」と言い、ある陶工は「土は生き物です」と言い、ある

塗師は「漆は生き物です」と言う。それに対して近代的(な)技術では、自分を自然から切り離して主体とし、主体側の都合のいいように客体としての自然から有益なものを切り出していく。近代技術はそんな傾向を強く持った技術と言ってもいいかもしれない。

『職人』実筆者不明、三交社、2001年

他にも、5人中4人が「近代的な」が現在から見て新しい感じをもつことを表すと判断したものは上掲の例文(1)、(2)、(3)、(6)と以下の例文(35)の計5例見られ、5人中2人がそのように判断したものは例文(5)の1例であったが、例えば、例文(35)の「老人ホーム」という言葉自体が「ホスピス」よりも新しいか否かはさておき、いずれも文脈全体の意から判断すると、現在から見ても新しい感じをもつことを表している意味だと受け取れ、それらを合わせると「近代的な」が新しい感じをもつことを表しているものは計11例見られることになる。

その他、上掲の例文(8)は5人中3人、(7)は5人中2人が新しい様子を表すと答え、回答が分かれた。例文(8)は「現在とのギャップ」という表現がうしろに表れていることを考慮すると、現在から見ても新しい感じをもつことを述べているのではなく、どちらかという、例えば「近代の雰囲気が漂う」の意のように近代に言及しているようだ。また、例文(7)は近代の特徴をもつことというよりは、新しい感覚・神経をもつという意味になるであろうが、いずれも新しい感じをもつことなのか、近代としての特徴をもつことなのか、例文の文脈から判断するのは難しかったと思われる。

(35) 千九百七十年以降、次第にオスピスは廃止されつつあり、それに代わって近代的(な)老人ホーム (maison de retraite) が作られている。この老人ホームでは高齢者に住まい、食物その他のサービスを与えるが、原則として介護・看護機能は備えておらず、要介護高齢者は、医療施設 (etablissement medicalise) に移されていた。

『フランス社会の保障』松村洋子(著)/松村祥子(著) 東京大学出版会、1989年

### 2.3 「近代的」から見た「-的φ」と「-的な」のまとめ

以上、連体修飾としてはたらく「-的φ」と「-的な」から「近代的」の使われ方について考察してきた。その結果、形態から見て、「近代的な」に後接するものには漢語、和語、外来語、混種語のそれぞれがあるが、漢語の場合、構文的な理由や臨時一語として認めにくいと感じられたものや「近代的」との意味的な関わりが希薄なものには、活用語尾「な」がある方が自然だと判断されることが多いことが判明した。一方で、臨時一語化すると思われた場合や、文脈上の漢語連続とのバランスから「近代的φ」のように活用語尾の「な」がない方が自然だと判断された例も見られた。臨時一語として容認できるかどうかという問題は、日本語母語話者にとっても難しい問題である。ましてや文脈上に使用されている他の漢語連続との相性まで考慮に入れれば、

日本語学習者にとって、活用語尾の「な」を備えて文を作ればいいのかどうかの識別は極めて困難だと思われる。

また、意味から見ると、調査対象の35例の例文（原文）の内、17例が「近代的の $\phi$ 」の形で、その内13例は日本語母語話者5人中5人全員が「近代の」や「近代としての特徴をもつ」意の方であると判断し、2例は、5人中4人ないし、5人中3人が「近代としての特徴をもつ」と判断した。判断が難しかったと思われるもの2例を除くと、計15例の「近代的の $\phi$ 」が近代としての特徴をもつことと感じられ、新しい感じをもつことを表していると判断されたものは、ほぼ見られなかった。

一方で、例文（原文）の「近代的な」の形は35例中18例あり、その内、日本語母語話者5人中5人全員が「近代としての特徴をもつ」意味に受け取ったものは計5例見られた。また、5人中5人全員が「近代的な」の意味を「現在から見て新しい感じをもつ」と判断したものは5例あり、5人中4人が同様に判断したものが5例あり、計10例見られた。その他の2例は文脈から意味を判断するのが難しいと思われたものであった。したがって、「近代的な」は近代としての特徴をもつことと新しい感じをもつことのどちらも比較的自由に表し得ることが明らかになった。

このように、「近代的」を例に「-的の $\phi$ 」と「-的な」を見ると、「-的の $\phi$ 」の方は「-的な」に比べ、形態的に固定性があり、意味的にもやや制限があるのではないかとこの結論に至った。なお、500の用例の中で、非並列で連体修飾としてはたらく「近代的の $\phi$ 」は170例、「近代的な」は290例見られ、「近代的な」は「近代的の $\phi$ 」の約1.7倍だった。全ての語基と接尾辞「的」に言えることではないが、連体修飾としてはたらく際の「-的の $\phi$ 」のような形には、単に漢語が後接され、臨時一語が形成されることが多いということだけではなく、形態的にも意味的にも制限が加わる傾向もあるのではないかとこのことに留意しながら、他の語基についても「-的の $\phi$ 」の形で用いられやすいタイプや「-的な」の形で用いられやすいタイプがあることを認識しておく必要があると思われる。そこで、次章では、「-的の $\phi$ 」と「-的な」のそれぞれの形で用いられやすい語基についても見ていく。

### 3 計量的調査から見た「-的の $\phi$ 」と「-的な」

#### 3.1 分析対象と方法

本分析では、「-的の $\phi$ 」の形で用いられやすいタイプ、「-的な」の形で用いられやすいタイプがあるか、あるとするならば、それはどのような語基かを考察することを目的とし、まず、「現代日本語書き言葉均衡コーパス」で検索対象を新聞・書籍・教科書に絞り、接尾辞「-的」を含む前後文脈の文字数100からなる文章を500例抽出した。次に、その中から、抽出数が多く、際立った傾向が見られる語基を選び、検索対象を新聞・書籍・教科書に雑誌・白書・広報誌・知恵袋・ブログ・ベストセラーも加え、「-的の $\phi$ 」と「-的な」の使われ方の分析を試みた。

### 3.2 「-的(な)」の抽出結果

図1は、新聞を対象に連体修飾としてはらたいている「-的φ」と「-的な」の様々な語基を抽出した上で、「-的φ」と「-的な」のどちらか一方が3回以上出現したものを示したものである。図1を見ると、「具体的φ」と「具体的な」を合わせたものが全体の中で突出して多いことが分かる。また、「具体的φ」と「具体的な」の数の差が極端な差が見られ、「具体的な」が群を抜いて多く見られる。「-的φ」に着目すると、「具体的φ」の他に、「-的な」との割合の差が最も顕著なのは「社会的φ」、次いで「法的φ」、「公的φ」、「経済的φ」の順に続く。「法的φ」、「公的φ」、「人的φ」、「性的φ」、「知的φ」、「量的φ」については、「-的」に前接する音節数、文字数も「-的φ」の形態の方の割合を多くしていることと関わっているだろう。

一方で、「-的な」に着目すると、「-的φ」との割合の差が多いのは、「具体的な」の他に、「本格的な」、「積極的な」、「国際的な」、「伝統的な」の順である。また、「-的φ」と「-的な」の数の差がほとんどなく、どちらの形も同程度使用されているのは「基本的φ」と「基本的な」である。

【図1】新聞を対象とした「-的(な)」の抽出結果（出現回数3回以上）

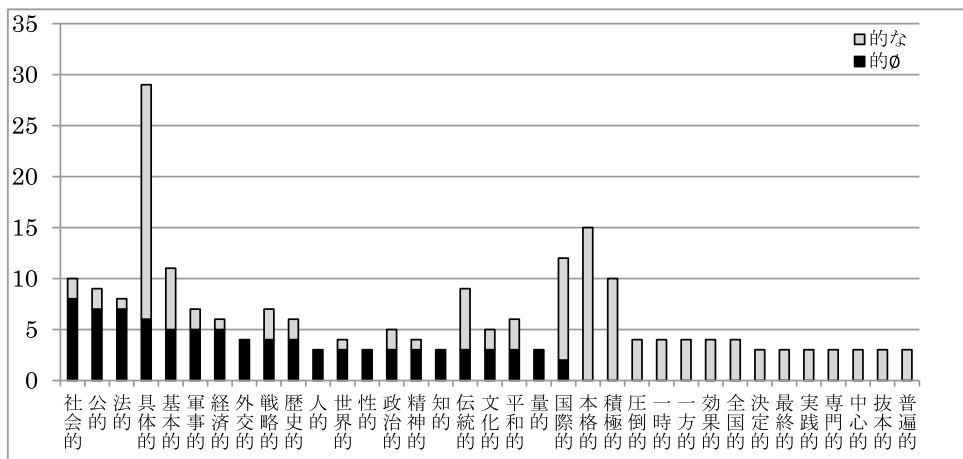


図2は、書籍を対象に連体修飾としてはたらいっている「-的φ」と「-的な」で、どのような語基があるか抽出したものである。図1と同様に、どちらか一方が3回以上出現したものをグラフに示している。図2から、最も多く使用されているのは「基本的φ」と「基本的な」を合わせたものであるが、図1で述べたように、それらの使用頻度にはほとんど差が見られない。「-的φ」に着目すると、「社会的φ」が「社会的な」に比べ、約4倍近く使用されている。また、「歴史的φ」も「歴史的な」の2倍程度見られる。図2の中での総数が3番目に多い「具体的(な)」は、新聞を対象とした図1の場合と同様に使用頻度が高いが、「具体的な」の方が「具体的φ」よりやや多



い程度で、あまり差は見られない。一方で、「-的な」に着目すると、「一般的な」と「典型的な」のように、「-的な」があるのに対し、「-的の」が見られないものもある。

【図2】書籍を対象とした「-的（な）」の抽出結果（出現回数3回以上）

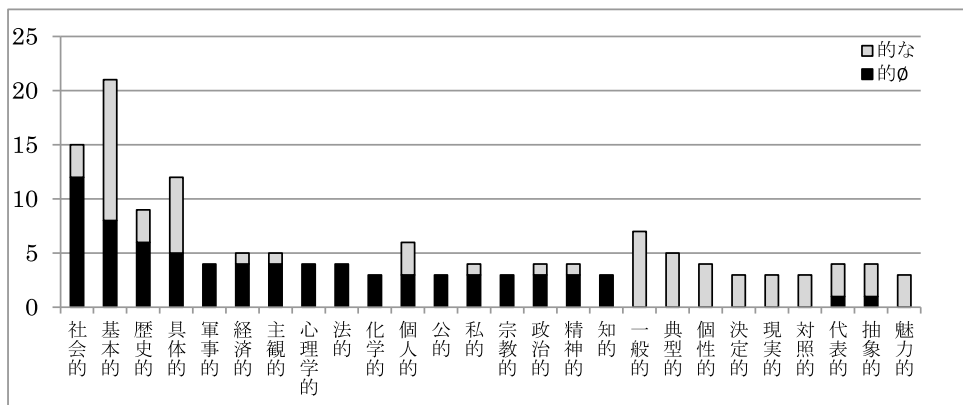


図3は、教科書を対象に連体修飾としてはらたいている「-的の」と「-的な」について抽出した結果である。図3にも、図1と図2と同様に、出現回数が3回以上のものを示している。図3を見ると、全体の中で突出して総数が多いのは「基本的（な）」であるが、図1の新聞、図2の書籍の場合と同様に、「基本的の」と「基本的な」の使用頻度の間に差がほとんど見られなかった。全体の総数で二番目に多いのは「代表的（な）」、そして「社会的（な）」、「伝統的（な）」と続くが、「社会的の」は「社会的な」より相当数多く、反対に「代表的な」は「代表的の」と比べ、また「伝統的な」は「伝統的の」と比べ、「-的な」の方の使用頻度が高く、各々その差が大きい。

【図3】教科書を対象とした「-的（な）」の抽出結果（出現回数3回以上）

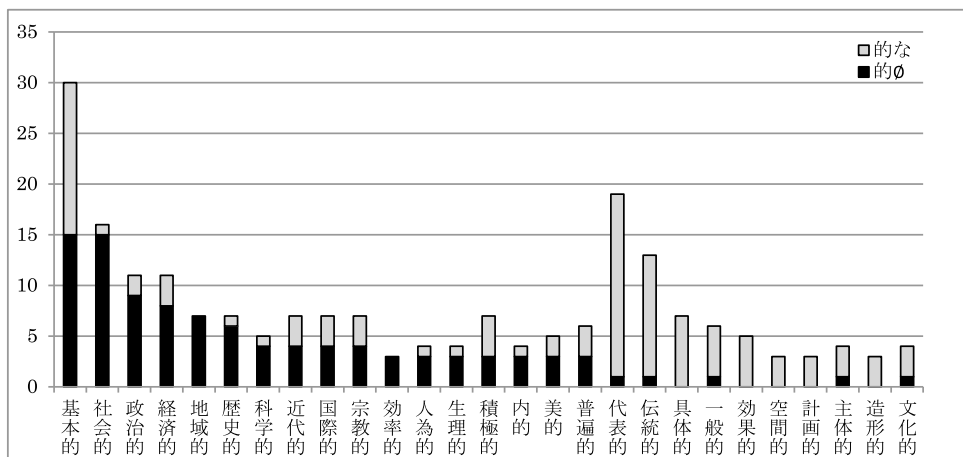


図1、図2、図3について総じて述べると、「基本的(な)」は、新聞・書籍・教科書の三つの分野で多く使用されており、三つのいずれのジャンルにおいても「基本的φ」と「基本的な」の使用頻度に差はほとんど見られないことが明らかになった。また、「具体的φ」と「具体的な」は三つのジャンル全てに存在し、特に、新聞・書籍には多く見られた。また、「社会的φ」及び「社会的な」も三つのジャンル全てにおいて万遍なく多く使用されていることが分かった。さらに、「代表的な」は、書籍・教科書に多く見られた上、「代表的な」と「代表的φ」の間の使用頻度に差が見られた。このように、よく使用される語基と、「-的φ」と「-的な」の頻度に関して、使われ方に差があるものとなないものがあることも明らかになった。

### 3.3 使用頻度の高い語基から見た「-的φ」と「-的な」の分析

本分析では、前節を踏まえて、使用頻度が高い語基、「-的φ」と「-的な」の間の頻度の差が見られる語基、際立った傾向が見られたもの、新聞・書籍・教科書の三つに平均して5回以上出現しているもの等の条件を総合的に考慮し、考察対象を選んだ。選択したものは、「具体的(な)」、「代表的(な)」、「社会的(な)」、「経済的(な)」である。これらを対象に、再度「現代日本語書き言葉均衡コーパス」で新聞・書籍・教科書の他に、雑誌・白書・広報誌・知恵袋・ブログ・ベストセラーも検索対象に含め、前後文脈の文字数100からなる文章をそれぞれ500例収集した。次に、500例の中から連体修飾としてはたらく「-的φ」と「-的な」の形を抽出し、後接するものを語種別に分け、延べ数と異なり数を算出した。

表2は「具体的φ」と「具体的な」に後接するもの、表3は「代表的φ」と「代表的な」に後接するもの、表4は「社会的φ」と「社会的な」に後接するもの、表5は「経済的φ」と「経済的な」に後接するものを語種ごとに分けて示した。表中の( )括弧内の数字は、出現回数を表している。

表2から、「具体的φ」に後接するものは、漢語の延べ数が48と多く、外来語、和語、混種語を合わせた延べ数は計54であることが分かった。それに対して、「具体的な」に後接する語種の延べ数については、漢語が142、外来語が20、和語が24、混種語が7であった。和語に関しては、「具体的φ」に後接する延べ数が4であることと「具体的な」に後接する延べ数が24であることを比較すると、「具体的な」の方に後接する和語が「具体的φ」の6倍多いことになる。全ての語種の出現数を足した総数についても、「具体的な」に後接する延べ数は計193で、「具体的φ」に後接する計54の3.5倍以上見られた。

表3では、「代表的φ」に後接するものを見ると、まず、漢語の延べ数が76と多く、「代表的φ」に後接する全ての語種の出現数を合わせた延べ数は87、異なり数は69であった。それに対し、「代表的な」の延べ数は、漢語が196、外来語が27、和語が122、混種語が19で、漢語だけではなく和語も多く後接することが明らかである。「代表的な」

に後接する全ての語種を合わせると、延べ数は合計 364 であり、「代表的の」の場合の 4 倍以上も見られる。また、「代表的な」に後接する漢語と和語の異なり数に注目すると、延べ数との間に大幅な差があり、同じ語が繰り返し使用されていることが分かる。後接するものを具体的に見ても、「代表的な例」が 22 回、「代表的なもの」が 92 回と何度も出現している他、2 回以上使用されている漢語も 20 種類と多い。

表 4 の「社会的の」については、後接する漢語の延べ数が 265 で、異なり数 143 との間に 100 強の差が見られ、「社会的地位」、「社会的活動」、「社会的責任」、「社会的存在」などのように、繰り返し使用されているものが多い。和語と混種語に関しては、「社会的の」も「社会的な」もどちらも特別多いというわけではない。全ての語種の出現回数の総数は、「社会的の」に後接するものの延べ数が合計 299、「社会的な」に後接するものの延べ数が合計 66 で、「社会的の」は「社会的な」の約 4.5 倍も使用されていることが分かった。

表 5 から、「経済的の」も「経済的な」も後接する外来語の数に大差はないが、漢語に関しては、「経済的の」の延べ数が 201 で、「経済的な」の延べ数が 74 であり、「経済的の」は「経済的な」の 3 倍弱見られる。「経済的の」と「経済的な」に後接する漢語の延べ数と異なり数に注目すると差が見られ、「経済的理由」や「経済的な理由」が繰り返し使用されていることも分かる。後接する和語については、「経済的な」の延べ数は 10、「経済的の」の延べ数は 6 で、「経済的な」に後接する和語の方がやや多い。混種語については「経済的の」の延べ数が 6、「経済的な」の延べ数が 1 で、「経済的の」に後接する混種語の方がやや多いが、和語、混種語のどちらも漢語と比較すれば、その数は少ない。

以上のことから、「具体的」と「代表的」は活用語尾「な」がある形で使用される傾向が強く、「社会的」と「経済的」は活用語尾「な」がない形で使用される傾向があることが明らかになった。また、「代表的な例」、「代表的なもの」、「社会的地位」、「経済的理由」、「経済的な理由」のようにセットでよく使用されるものが見出せた。

このように、様々な語基の中には、前節 3.2 で述べた通り、「基本的」のごとく「-的の」と「-的な」のどちらの形も同じぐらいの割合で使用する傾向がある一方で、「社会的」、「経済的」のごとく「-的の」の形の方が使われやすいものと、「具体的」、「代表的」のごとく「-的な」の形の方が使われやすいものといったふうに、どちらか一方の形が使われやすいものがあることが明らかになった。本稿では紙面の都合上考察できなかったのだが、今後、他の語基についても、「-的の」と「-的な」の使われ方にどのような差があるのかを調べ、さらに接尾辞「的」自体の意味にいかなる差異が生じるのかについても考察したいと思う。

【表2】「具体的φ」、「具体的な」に後接するもの

	後接するもの
具体的φ + 漢語  延べ数 (48) 異なり数 (35)	行動 (3)、事実 (3)、数字 (3)、内容 (3)、指示 (2)、施策 (2)、事例 (2)、方策 (2)、方法 (2)、意味 (1)、課題 (1)、活動 (1)、企画 (1)、基準 (1)、協力要請 (1)、金額 (1)、訓令 (1)、経験 (1)、建設計画 (1)、検討 (1)、効果 (1)、根拠 (1)、手段 (1)、手法 (1)、成果 (1)、政策 (1)、適用 (1)、人間 (1)、範囲 (1)、評価方法 (1)、平等 (1)、方針 (1)、目標 (1)、履行方法 (1)、例 (1)
具体的φ + 外来語  延べ数 (1) 異なり数 (1)	プロジェクト (1)
具体的φ + 和語  延べ数 (4) 異なり数 (3)	手続き (2)、動き (1)、取り組み (1)
具体的φ + 混種語  延べ数 (1) 異なり数 (1)	仕組み (1)
具体的な + 漢語  延べ数 (142) 異なり数 (110)	計画 (4)、検討 (4)、数字 (3)、成果 (3)、政策 (3)、方法 (3)、問題 (3)、活動 (2)、関係 (2)、行為 (2)、行動 (2)、事業 (2)、事例 (2)、手段 (2)、証拠 (2)、状況 (2)、数値 (2)、生活 (2)、内容 (2)、場所 (2)、方策 (2)、目標 (2)、案 (1)、意思決定 (1)、運用 (1)、運用例 (1)、応対方法 (1)、価格設定 (1)、解約手法 (1)、改善 (1)、改善方法 (1)、開発 (1)、額 (1)、活用法 (1)、株式時価 (1)、為替水準 (1)、監視 (1)、監視対象 (1)、観点 (1)、基準 (1)、規律 (1)、記述 (1)、議論 (1)、協議 (1)、協力案件 (1)、金額 (1)、軍事活動 (1)、経営目標 (1)、経験 (1)、懸念 (1)、現実 (1)、限度値 (1)、個人名 (1)、行動特性 (1)、作業 (1)、指示 (1)、指針 (1)、指摘 (1)、指導 (1)、指標 (1)、支援活動 (1)、事業計画 (1)、事業内容 (1)、事件 (1)、事項 (1)、事実 (1)、事情 (1)、式 (1)、次世代育成支援対策 (1)、実践 (1)、実践形態 (1)、授業過程 (1)、収集先 (1)、住宅問題 (1)、準備 (1)、商品 (1)、将来像 (1)、象徴 (1)、心理作用 (1)、新築 (1)、数的事実 (1)、政策形成 (1)、政策対応 (1)、製品 (1)、素材 (1)、組織 (1)、装備 (1)、損害 (1)、対応 (1)、対応策 (1)、対策 (1)、態様 (1)、地名 (1)、治療 (1)、人間 (1)、背景 (1)、範囲 (1)、表現 (1)、評価基準 (1)、武器 (1)、分析手段 (1)、法令化 (1)、面接交渉 (1)、目標基準 (1)、約束 (1)、優先配当額 (1)、様相 (1)、要件 (1)、例 (1)、連絡 (1)
具体的な + 外来語  延べ数 (20) 異なり数 (14)	イメージ (3)、アドバイス (2)、テーマ (2)、プラン (2)、メリット (2)、「レーザー:LASEA」(1)、アイデア (1)、キーワード (1)、コギタチオ (1)、コミュニケーション (1)、サービス (1)、スケジュール (1)、ムーブメント (1)、メカニズム (1)
具体的な + 和語  延べ数 (24) 異なり数 (13)	形 (3)、こと (3)、もの (3)、話 (3)、姿 (2)、手立て (2)、取り組み (2)、現れ (1)、絵 (1)、数 (1)、物 (1)、「ものの考え方」(1)、やり方 (1)
具体的な + 混種語  延べ数 (7) 異なり数 (7)	インストール手順 (1)、看護プログラム (1)、財政赤字 (1)、仕方 (1)、仕組み (1)、仕事 (1)、取組内容 (1)

【表3】「代表的φ」、「代表的な」に後接するもの

	後接するもの
代表的φ + 漢語  延べ数 (76) 異なり数 (58)	作品 (5)、消費者 (4)、人物 (4)、作家 (3)、手法 (3)、遺跡 (2)、知識人 (2)、著者 (2)、日本人 (2)、遺構 (1)、一級人 (1)、運動 (1)、英語検定試験 (1)、援助例 (1)、家計 (1)、歌人 (1)、漁船 (1)、形態 (1)、景観 (1)、建築 (1)、建築家 (1)、建築物 (1)、研究 (1)、個人 (1)、工業都市 (1)、校訂者 (1)、産地 (1)、思想家 (1)、指標 (1)、施設 (1)、詩人 (1)、事例 (1)、寺院 (1)、疾患 (1)、宗教思想家 (1)、数値 (1)、碩学 (1)、先住民 (1)、組織 (1)、造園家 (1)、存在 (1)、大学 (1)、地域 (1)、著作 (1)、著書 (1)、彫刻家 (1)、売買形態 (1)、美男子 (1)、不良住宅地区 (1)、風景 (1)、仏師 (1)、物質 (1)、文化 (1)、兵法 (1)、暴君 (1)、民謡 (1)、輸出商品 (1)、労働条件 (1)
代表的φ + 外来語  延べ数 (5) 異なり数 (5)	アイテム (1)、アイドル (1)、アプリケーションソフト (1)、グロッタ (1)、モチーフ (1)
代表的φ + 和語  延べ数 (2) 異なり数 (2)	髪形 (1)、ネタ (1)
代表的φ + 混種語  延べ数 (4) 異なり数 (4)	キリスト教徒 (1)、証券ブローカー (1)、ターミナル駅 (1)、対潜ミサイル (1)
代表的な + 漢語  延べ数 (196) 異なり数 (144)	例 (22)、人物 (7)、遺跡 (3)、事例 (3)、症状 (3)、存在 (3)、文学作品 (3)、方法 (3)、料理 (3)、画家 (2)、画像 (2)、回路 (2)、研究 (2)、合金 (2)、作家 (2)、指標 (2)、事業 (2)、食材 (2)、地域 (2)、著作 (2)、3人 (1)、安定剤 (1)、意匠 (1)、胃腸薬 (1)、一次産品 (1)、運命線 (1)、映画 (1)、沿岸 (1)、演奏 (1)、応急手当普及啓発 (1)、化学蒸気輸送法 (1)、「革新」自治体 (1)、会社 (1)、解法 (1)、確率分布 (1)、活断層 (1)、活動 (1)、感染症 (1)、機関 (1)、機器 (1)、戯曲 (1)、吸水高分子 (1)、行書 (1)、競技 (1)、教科書 (1)、凝固組織 (1)、金融資産 (1)、建設関連資材 (1)、憲法私案 (1)、検定 (1)、研究者 (1)、古墳 (1)、呼吸器疾患 (1)、誤用 (1)、交通行動 (1)、抗うつ薬 (1)、耕種農業者 (1)、項目 (1)、国産品 (1)、災害類型 (1)、作例 (1)、雑務 (1)、産地 (1)、算出式 (1)、子宮 (1)、思潮 (1)、詩 (1)、詩人 (1)、資料 (1)、自動車 (1)、辞書 (1)、主張 (1)、儒学者 (1)、集塵装置 (1)、諸文献 (1)、沼沢地帯 (1)、常染色体優性遺伝病 (1)、情報・通信機器 (1)、植物性 (1)、職種 (1)、食品添加物 (1)、神域 (1)、親日派 (1)、水質指数 (1)、水質指標 (1)、成果 (1)、生活関連公共施設 (1)、生産構造図 (1)、精神疾患 (1)、製品 (1)、接続 (1)、設問 (1)、専門家 (1)、組織 (1)、操作活動 (1)、測定尺度 (1)、大腸菌 (1)、大庭園 (1)、単式簿記 (1)、虫具 (1)、調査報告書 (1)、長寿国 (1)、定義 (1)、哲学者 (1)、鉄道 (1)、都市河川 (1)、投資銀行 (1)、動物 (1)、導入技術 (1)、銅合金 (1)、毒薬 (1)、日本料理 (1)、熱半導体 (1)、粘土 (1)、波形 (1)、批判 (1)、批評家 (1)、標識 (1)、表色系 (1)、病気 (1)、品種 (1)、負荷状況 (1)、部品 (1)、風景 (1)、物価 (1)、物権 (1)、文献 (1)、放射性物質 (1)、明朝体 (1)、民族衣装 (1)、無形遺産 (1)、名画 (1)、名所 (1)、銘菓 (1)、めん料理 (1)、問題 (1)、唯識学僧 (1)、有機溶剤 (1)、融資制度 (1)、利益団体 (1)、理由 (1)、論者 (1)、論文 (1)、倭習 (1)

<p>代表的な+外来語</p> <p>延べ数 (27) 異なり数 (25)</p>	<p>ケース (2)、パターン (2)、アーティスト (1)、アドレス (1)、オルタネータ (1)、コネクションレス (1)、サービス (1)、サルサソース (1)、セクションプロパティ (1)、ダム (1)、チーズ (1)、ツール (1)、ディテイル (1)、ナイトクラブ (1)、ナイロンバッグ (1)、ビデオチップ (1)、プロバイダ (1)、ポイント (1)、ボタン (1)、ホスピタリティビジネス (1)、メーカー (1)、モチーフ (1)、レース (1)、レパトリー (1)、レポートプロパティ (1)</p>
<p>代表的な+和語</p> <p>延べ数 (122) 異なり数 (29)</p>	<p>もの (92)、こと (2)、花 (2)、値 (1)、色合い (1)、浮世絵 (1)、動き (1)、鬼っ子 (1)、織物 (1)、買い手 (1)、神 (1)、鯨 (1)、葉 (1)、国 (1)、米 (1)、魚 (1)、使われ方 (1)、ところ (1)、富籤 (1)、鳴き方 (1)、並木道 (1)、場合 (1)、一つ (1)、人びと (1)、祭り (1)、村 (1)、物 (1)、山 (1)、技 (1)</p>
<p>代表的な+混種語</p> <p>延べ数 (19) 異なり数 (19)</p>	<p>暗号化ソフトウェア (1)、ウイルス感染 (1)、ウイルス対策ソフト (1)、観光スポット (1)、球根植 (1)、キリシタン大名 (1)、コード化 (1)、子ども家庭福祉相談援助機関 (1)、コピー食品 (1)、サンゴ類 (1)、就職先 (1)、親水性レクリエーション (1)、鍋料理 (1)、光ケーブルの構造 (1)、プロスタグランディン合成阻害剤 (1)、木製ブロックパズル (1)、頼長邸 (1)、リゾート地 (1)、レンガ構造物 (1)</p>

【表4】「社会的φ」、「社会的な」に後接するもの

	後接するもの
社会的φ + 漢語  延べ数 (265) 異なり数 (143)	地位 (24)、活動 (8)、責任 (7)、存在 (7)、評価 (6)、条件 (5)、背景 (5)、圧力 (4)、機能 (4)、行為 (4)、使命 (4)、側面 (4)、費用 (4)、問題 (4)、利益 (4)、意味 (3)、影響力 (3)、価値 (3)、貢献 (3)、差別 (3)、事実 (3)、動物 (3)、認知 (3)、分業 (3)、要請 (3)、意識 (2)、影響 (2)、環境 (2)、観点 (2)、基盤 (2)、権威 (2)、厚生 (2)、構成 (2)、混乱 (2)、自立 (2)、信用 (2)、信頼 (2)、世界 (2)、性格 (2)、正義 (2)、組織 (2)、知識 (2)、入院 (2)、不利 (2)、有用性 (2)、要因 (2)、要求 (2)、流動性 (2)、安定 (1)、意義 (1)、運動 (1)、価値観 (1)、可能性 (1)、過程 (1)、改革 (1)、階層 (1)、外向 (1)、概念 (1)、隔離 (1)、慣習 (1)、関係 (1)、危機 (1)、危険性 (1)、寄生 (1)、帰結 (1)、気風 (1)、規範 (1)、起業家 (1)、教育 (1)、業績 (1)、緊張 (1)、空間 (1)、経験 (1)、結束 (1)、権利 (1)、権力 (1)、現実 (1)、限界 (1)、孤立 (1)、交流 (1)、厚生関数 (1)、抗議 (1)、構成論 (1)、構造 (1)、高揚 (1)、合意 (1)、混沌 (1)、再生産 (1)、作用 (1)、施設 (1)、視点 (1)、資金 (1)、事象 (1)、事態 (1)、事由 (1)、自己満足 (1)、自殺 (1)、集団 (1)、所有 (1)、諸力 (1)、序列 (1)、少数派 (1)、承認 (1)、情況 (1)、食事 (1)、人格 (1)、制裁 (1)、制度 (1)、政策 (1)、創造 (1)、争点 (1)、相当性 (1)、属性 (1)、損失 (1)、体感 (1)、態度 (1)、単位 (1)、蓄積 (1)、秩序 (1)、通念 (1)、適応能力 (1)、伝統 (1)、特徴 (1)、能力 (1)、排除 (1)、発想 (1)、発展 (1)、批判 (1)、風潮 (1)、福音 (1)、分野 (1)、文脈 (1)、変化 (1)、奉仕 (1)、法 (1)、法治国家 (1)、有罪 (1)、余剰 (1)、様態 (1)、抑制 (1)、理由 (1)、良識 (1)、良心 (1)
社会的φ + 外来語  延べ数 (16) 異なり数 (14)	ニーズ (3)、インパクト (1)、インフラストラクチュア (1)、コード (1)、コスト (1)、コンセンサス (1)、サンクション (1)、スクリーン (1)、スプレッド (1)、ネットワーク (1)、ハンディキャップ (1)、ファクター (1)、マイナス (1)、マナー (1)
社会的φ + 和語  延べ数 (5) 異なり数 (2)	立場 (3)、手続き (2)
社会的φ + 混種語  延べ数 (13) 異なり数 (6)	弱音 (5)、身分 (3)、位置づけ (2)、学習ネットワーク (1)、力関係 (1)、出番 (1)
社会的な + 漢語  延べ数 (48) 異なり数 (43)	課題 (2)、活動 (2)、環境 (2)、事件 (2)、地位 (2)、意味 (1)、逸脱行為 (1)、価値 (1)、機能 (1)、境遇 (1)、緊張 (1)、権威 (1)、攻撃行動 (1)、構造 (1)、行為 (1)、行動 (1)、差別 (1)、視点 (1)、視野 (1)、資質 (1)、事項 (1)、实在 (1)、上昇移動 (1)、条件 (1)、信頼度 (1)、制度 (1)、性格 (1)、先入観 (1)、前提 (1)、総体 (1)、側面 (1)、存在 (1)、存在意義 (1)、潮流 (1)、努力 (1)、人間 (1)、避難 (1)、矛盾 (1)、問題 (1)、問題提議 (1)、役割 (1)、理解 (1)、倫理 (1)
社会的な + 外来語  延べ数 (5) 異なり数 (5)	システム (1)、デザイン (1)、プロフェッショナル (1)、メカニズム (1)、モラル (1)
社会的な + 和語  延べ数 (9) 異なり数 (8)	つながり (2)、絆 (1)、こと (1)、立場 (1)、手続き (1)、人 (1)、広がり (1)、枠組み (1)
社会的な + 混種語  延べ数 (4) 異なり数 (3)	位置づけ (2)、意味合い (1)、力関係 (1)

【表5】「経済的φ」、「経済的な」に後接するもの

	後接するもの
経済的φ + 漢語  延べ数 (201) 異なり数 (104)	理由 (14)、利益 (12)、負担 (11)、影響 (7)、便益 (7)、地位 (6)、発展 (6)、価値 (5)、損失 (5)、要素 (5)、自立 (4)、状況 (4)、格差 (3)、公序 (3)、混乱 (3)、支援 (3)、条件 (3)、打撃 (3)、活動 (2)、関係 (2)、基盤 (2)、効果 (2)、弱者 (2)、手段 (2)、手法 (2)、成功 (2)、側面 (2)、大国 (2)、余裕 (2)、安定 (1)、依存度 (1)、援助 (1)、過去 (1)、階級 (1)、観念 (1)、基礎 (1)、機能 (1)、貴族国 (1)、虐待 (1)、窮状 (1)、恐喝 (1)、均衡 (1)、苦境 (1)、結合 (1)、原因 (1)、公序論 (1)、効率 (1)、構造 (1)、合理性 (1)、困窮 (1)、困難 (1)、混迷 (1)、事情 (1)、自由権 (1)、自由主義 (1)、識見 (1)、実態 (1)、修繕 (1)、重要性 (1)、出捐 (1)、諸活動 (1)、償却 (1)、状態 (1)、植民地政策 (1)、進歩 (1)、衰退 (1)、制限 (1)、性格 (1)、成長 (1)、責任 (1)、相互関係 (1)、代価 (1)、単一組織体 (1)、地盤 (1)、停滞 (1)、停滯 (1)、適地 (1)、土台 (1)、統合 (1)、動機 (1)、特性 (1)、独立 (1)、独立性 (1)、内容 (1)、波及効果 (1)、背景 (1)、必要性 (1)、表現 (1)、評価 (1)、不安 (1)、不満 (1)、復興 (1)、文明 (1)、報酬 (1)、北限 (1)、問題 (1)、優越意識 (1)、要因 (1)、要請 (1)、利害 (1)、利害関係 (1)、理解 (1)、立法 (1)、領域 (1)
経済的φ + 外来語 延べ数 (6) 異なり数 (6)	インフラ (1)、クラス (1)、ニーズ (1)、パフォーマンス (1)、ポピュリズム (1)、リスク (1)
経済的φ + 和語 延べ数 (6) 異なり数 (4)	豊かさ (2)、力 (2)、裏付け (1)、見返り (1)
経済的φ + 混種語 延べ数 (6) 異なり数 (5)	ロット量 (2)、逆コース (1)、仕組み (1)、日本たたき (1)、発注量モデル (1)
経済的な + 漢語  延べ数 (74) 異なり数 (43)	理由 (12)、面 (5)、側面 (4)、問題 (4)、価値 (2)、効果 (2)、事情 (2)、所得 (2)、条件 (2)、発展 (2)、飛躍 (2)、不安 (2)、余裕 (2)、利益 (2)、安心 (1)、安定性 (1)、意義 (1)、意味 (1)、援助 (1)、観点 (1)、関心 (1)、後発国 (1)、効用 (1)、困窮 (1)、混乱 (1)、採算 (1)、支援 (1)、支出 (1)、視点 (1)、主導権 (1)、状況 (1)、生活 (1)、生活基盤 (1)、損失 (1)、地位 (1)、低迷 (1)、背景 (1)、繁栄 (1)、不安定 (1)、負担 (1)、復興 (1)、分野 (1)、利害 (1)
経済的な + 外来語 延べ数 (5) 異なり数 (5)	インターネット (1)、チャンス (1)、デジタルデータ (1)、リンク (1)、グローバル化 (1)
経済的な + 和語 延べ数 (10) 異なり数 (9)	豊かさ (2)、考え方 (1)、事 (1)、力 (1)、つながり (1)、富 (1)、悩み (1)、もの (1)、やり方 (1)
経済的な + 混種語 延べ数 (1) 異なり数 (1)	インセンティブ効果 (1)

#### 4 おわりに

本稿では、まず、接尾辞「的」の語基「近代」を一例に、連体修飾用法を取りあげ、日本語母語話者が「-的φ」と「-的な」を選択し分けているなら、どのように判断



しているのかを調査するため、アンケートや用例の分析から考察してきた。その結果、「-的の」と「-的な」のどちらとは判断できないものもあるが、日本語母語話者が自然に「近代的の」と「近代的な」を使い分けていることがあることも証明された。例えば、「近代的の+体言」とする場合は、それを臨時一語として見なしているかや、文脈上、他の単語との固定性やバランスなどから判断していることがあるようだが、そのような選択は、母語話者ならでは感覚に近いもので、日本語学習者にとって難しいのは当然のことであると言えよう。また、「近代的な+体言」とする場合は、構文的な理由や、「近代的」とそれに後接する語との意味的關係が希薄なものがあるということも確認できた。

また、意味的観点から、「近代的の」と「近代的な」は同じ意味を表す場合が多いが、「近代的な」の方は「近代としての特徴をもつこと」を表す以外に「現在から見ても新しい感じをもつこと」を表すことが多々あり、一方で「近代的の」の方はやや制限がかかる傾向があるのではないかと指摘した。

他の語基に関しては、計量的分析により、「基本的の」と及び「基本的な」のように連体修飾として「-的の」と「-的な」のどちらの形も同じぐらいの頻度で使うタイプと、「社会的の」、「経済的の」のように「-的の」の形が「-的な」より用いられやすいもの、「具体的な」、「代表的な」のように「-的な」の形が「-的の」より用いられやすいものといった、どちらか一方に使用頻度が偏るタイプがあることが確認できた。

増加傾向にある日本語学習者への効果的な指導のために、接尾辞「的」の誤用発生メカニズムの本質を解明することが不可欠であると考えているが、そのために、今後は、対象とする語基を増やし、接尾辞「的」に類似した連体修飾のはたらきを見せる「-の」や「-な」と比較し、接尾辞「的」の意味領域を明らかにするような考察を詳細に行うつもりである。

## 注

- 1 本稿では、接尾辞「的」が連体修飾としてはたらく際に、活用語尾「な」があるものを「-的な」、「な」がないものを「-的の」で記述した。「の」の形と「な」がある形のどちらも表す場合には、「-的（な）」も使用して区別した。また、先行研究において「的」と書かれていた場合、それらに触れる際や先行研究に関連して論じる場合にはなるべく先行研究の原文のとおり記述することとし、本文中で「的」を使用し、「-的」と区別したが、これらは記述の方法の違いであり、形態的・意味的差異があることを表しているのではない。
- 2 語種には、借用語（漢語）、（洋語）や、固有語（和語）や混種語等の呼び名があるが、本稿では、漢語、外来語、和語、混種語と表記することとした。
- 3 本稿では、原田朋子（2015）と同様に、林四郎（1997）や石井正彦（2007）に従い、「臨時一語」としている。林四郎（1997）は、日本語という言語体系の中に長く存在し続

ける単語がある一方で、その時その時の必要によって生まれ、すぐに消えていく単語があり、それらを「臨時一語」と呼んでいる。石井正彦(2007)は、ハンス・エガース(1973)の言葉を引用し、ドイツ語の「数個の、ときには多数の名詞が結合して1個の文成分を作り上げる」“Blockbildung”(ブロック構成)や「形式から言えば合成語であるが、未定着の結合である」“Augenblickskompositum”(即席合成語)といった表現手段が日本語にもあてはまるとし、それらを「臨時一語」と呼んでいる。

- 4 『大辞林』によると、近代は、「①近世の世。この頃。現代。「-絵画」「-性」②歴史の時代区分の一。西洋史では、ルネサンス、大航海、宗教改革以降の時代、特に市民社会と資本主義を特徴とする時代をいう。日本史では一般に、明治維新から太平洋戦争終了までの時期をいう。また、それ以降を現代というが、1917年のロシア革命以後を現代、それ以前を近代とする考え方もある。」とされているが、本稿では、この②の方に近い意味で「近代」を使用しており、「現代」と「近代」を区別している。

## 参考文献

- 石井正彦(2007)『現代日本語の複合語形成論』ひつじ研究叢書<言語編>第49巻, ひつじ書房
- 宇佐見英美子(2001)「接尾辞『~的』について」『津田塾大学紀要』No.33, 津田塾大学紀要委員会, pp.239-261.
- 遠藤織枝(1984)「接尾語『的』の意味と用法」『日本語教育』53号, 日本語教育学会, pp.125-138.
- 金田一春彦・池田弥三郎編(1998)『学研 国語大辞典』第二版, 学習研究社
- 国立国語研究所編(2004)『分類語彙表 増補改訂版』, 大日本図書
- 高橋勝忠(2005)「『的』論考」『英文学論叢』49号, 京都女子大学, pp.1-22.
- 林四郎(1997)「臨時一語の構造」『日本語研究資料集 語構成』, ひつじ書房, pp.268-280.
- 原田朋子(2015)「接尾辞『的』に関する一考察-『男性的(な)』と『女性的(な)』を例に-」『同志社大学日本語・日本文化研究』第13号, 同志社大学日本語・日本文化教育センター, pp.45-70.
- 原由起子(1986)「特集・接辞-的 -中国語との比較から-」『日本語学』, 明治書院, pp.73-80.
- 藤居信雄(1957)「的ということば」『言語生活』71号, 筑摩書房, pp.71-76.
- (1961)「的の意味」『言語生活』119号, 筑摩書房, pp.80-83.
- 松村明編『大辞林』(2006)第三版, 三省堂
- 宮島達夫(1994)『語彙論研究』, むぎ書房
- 村木新次郎(2012)『日本語の品詞体系とその周辺』ひつじ研究叢書<言語編>第101巻, ひつじ書房
- 望月通子(2010)「韓国人学習者の日本語作文に見る『的』付き形容動詞の使用傾向と教育

接尾辞「的」の連体修飾用法「-的の」と「-的な」に関する一考察（原田 朋子）

への提言—学習者コーパスと母語話者コーパスの比較を通して』『外国語教育研究』第3号，  
関西大学外国語学部，pp.1-16.

山下喜代（1999）「字音接尾辞『的』について」『日本語研究と日本語教育』，明治書院，  
pp.24-38.

山田巖（1961）「発生期における的ということば」『言語生活』第120号，筑摩書房，pp.56-  
61.

山田俊雄、築島裕、小林芳規、白藤禮幸編（1995）『新潮国語辞典』第二版，新潮社

### 例文出典

「現代日本語書き言葉均衡コーパス」大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立国語研究所

